



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和6年6月号(第3号)
令和6年5月31日発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心をもち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

喜んで登校 満足して下校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

子どもたちのやさしさに触れて

校長 藤田 昌一

中学校・高校・大学とバスケットボール部に所属していました。捻挫や突き指は日常茶飯事。指の脱臼や・足の骨折も経験してきました。そんな私ですが、就職してからは、激しいスポーツをすることもなくなり、怪我とは無縁の生活を送っていました。

しかし、ここ数年、大きな怪我が続いています。前任の学校で校長をしている時には、教員の体育実技の勉強会で、なわとび（ダブルダッチ）を跳んで、アキレス腱を切りました。また、教育委員会在職中には、コロナウイルス感染症で弱った体（人生で一番つらい症状がでました。）を復活させようと、ジョギングをしていたら転倒し、鎖骨を折りました。

そして、今回は、GW中に春スキーで転倒し、右膝を痛めてしまいました。楽しみにしていた5年生の館岩自然の教室の引率も、教頭に代わってもらうことになり、お恥ずかしい限りです。また、5月は、休み時間に子どもたちと鉄棒などをしながら、一緒に汗を流そうと思っていただけに、本当に残念です。

その一方で、子どもたちから、「校長先生、大丈夫ですか。」「なにか、お手伝いできますか。」「はやく、よくなってください。」「お大事にしてください。…」など、やさしさいっぱい言葉をかけてもらっています。「子どもから元気をもらう」という言葉の意味をかみしめているところです。

*

さて、6月は、「いじめ撲滅強化月間」です。

いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こりうる

このことを胸に刻み、学校では、いじめの兆しや、子どもの些細な変化を見逃さず、しっかりと対応を行うよう努めてまいります。しかしながら、携帯端末やデジタル機器の普及によるネット上のいじめのように、陰に隠れて行われ、発見しにくいいじめがあるのも事実です。お子さんに少しでも気になる様子が見られたら、ぜひ、しっかりと話を聞いていただきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、心配な点や、お気づきの点がありましたら、いつでも学校にご連絡ください。また、今月は個人面談があります。どのような些細なことでも結構ですので、遠慮なく担任にご相談くださいますようお願いいたします。